

平成31年3月22日

定期的確認結果（公示）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構 機構長選考会議

大学共同利用機関法人自然科学研究機構長の定期的確認結果について、大学共同利用機関法人自然科学研究機構機構長選考等規則第11条第5項の規定に基づき公表する。

記

1 定期的確認結果

平成29年度における小森機構長の業務執行について、適切に執行されていることを確認した。

2 理由

小森機構長は、「国際共同研究を通じて世界最高水準の自然科学研究を推進」及び「世界最先端の共同利用・共同研究環境を用いて大学等の研究力強化に寄与」を目標として掲げ、これらの実現に向けた各種取組を通じ、優れたリーダーシップを発揮した。

【主な取組】

- ・ 自然科学共同利用・共同研究統括システム（NOUS）の運用を開始し、国際的かつ先端的な共同利用・共同研究を推進
- ・ 自然科学大学間連携推進機構（NICIA）を構築し、大学の意見も反映したネットワーク型共同利用・共同研究を更に推進・発展
- ・ 研究力強化推進本部長に自ら着任し、機構の研究力強化にリーダーシップを発揮
- ・ 機構長裁量経費を活用した機関・分野の枠を超えた分野融合型共同研究を実施し、国内の共同利用・共同研究を推進
- ・ 既存組織のスクラップアンドビルドによる新たな研究施設「生命創成探究センター」の立上げ

国立大学法人評価委員会による平成29年度に係る業務の実績に関する評価においても、すべての項目において「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」との評価を受けており、期待した業績を挙げていることが確認された。

今後も、大学共同利用機関法人である自然科学研究機構には、自然科学の新たな展開を目指した新しい学問分野の創出とその発展への積極的な取組を期待したい。